



地域の話題



市内の気になる話題をご紹介します。

7/29

「四美ナリエ」訪れた人を 幻想的な世界にいざなう

全国植樹祭跡地の皇樹もりの杜に1万個余りのキャンドルを飾るイベント「四美ナリエ」を、地元四美区などでつくる実行委員会が催しました。地域の活性化を目的に毎年行われ、今年で13回目、約1,800人が来場。日没とともに、木々に囲まれた会場一帯に、ろうそくの明かりが広がり、訪れた人は、散策やスマートフォン・カメラでの記念撮影などで楽しみました。



ガラス瓶の中にろうそくを立てたキャンドルが敷地いっぱいに飾られ、まるで満天の星のように夜の闇を照らす会場＝萩原町四美、皇樹の杜

8/5

岩屋ダム放流 美しい水紋に 多くの見学者が集う

岩屋ダムの点検放流が一般公開され、市の内外から訪れた約250人の見学者が、放流でできた美しい水紋を楽しみました。

1977年のダム完成から40周年を記念し行われたもので、洪水時など非常時にのみ開く「洪水吐ゲート」からの放流。過去には、点検時を除き3回しか放流されておらず、普段はなかなか見ることのできない貴重な機会となりました。



普段は立ち入ることのできない場所から、美しい水紋を眺める見学者たち＝金山町卯野原・岩瀬、岩屋ダム

8/1-4

「温泉街の夏」5頭の龍や パレード、花火などで彩る

下呂温泉街の真夏の祭典「下呂温泉まつり」が4日間にわたり開かれ、龍神火まつりや湯の華みこしパレード、花火ミュージカル、歌塚まつりなどで、昨年を大きく上回る7万人余りの人出を集客しました。1日の合掌村で行われた吹奏楽ミニコンサートや、2日の湯の華みこしパレードに、下呂中学校の生徒らが参加し、イベントの盛り上げに一役買いました。(表紙記事)



1日の龍神火まつりで、梶みこしの周りを乱舞する龍を表現するため、必死に担いで走り回る地元若衆＝湯之島・森、白鷺橋

7/27
-8/25

地域の人から、助け合いや つながりの大切さを学習

下呂市社会福祉協議会は、小学校5、6年生を対象にした福祉のまちづくりを楽しく学ぶ「夏休み福祉体験学習 2017」を開催しました。

学習テーマを防災に、市内各5地域で2日間ずつ行い、延べ100人の児童が参加し、防災士や民生委員、中学生らもスタッフとしてボランティア協力。子どもたちは、防災を通じた地域の助け合いを学びました。



学習の一環で外に出て道行く人に声を掛け、地域のつながりについて街頭インタビューする小学生とボランティアスタッフの中学生＝森、下呂市民会館付近